

TOPPAN

と

おんがく

足を踏み入れた瞬間、新築のような木の香りが押し寄せてくる。実際はオープンして15年というから驚きです。花梨、樺桜、檜と、音の流れを細部まで考え木を選び抜く。たとえば舞台の床板は柾目が皆、客席へと向いている檜…。さぞかし音の響くホールと思われれることでしょう。しかし狙いはその逆。音が混じることを避け、響きすぎぬよう設計。音そのものをクリアに届けたいのです。こうした、私たちトッパンホールのこだわりは音響だけに留まりません。それはコンサートのプログラムづくりにあります。かねてより日本では、知名度の高い定番作品がひん

ばんに演奏されますが、私たちは違う道を歩んできました。クラシックシーンに今、必要な演目は何か。このホールで奏でるべきは、どんな音か。そのために私たちは、世界の様々なアーティストと直接意見を交わしてきました。こうした汗と情熱に、2015年度サントリー音楽賞をいただきました。コンサートホールとしての初めての受賞は私たちの誇りです。座席数408と決して大きくはないホールですが、これからも、ここでしか聴くことのできない音楽を！それは印刷という同じ芸術文化を支える者の使命。私たちはそう強く想っています。

TOPPAN

